

# 副産物情勢

平成30年2月6日

更新

J/A全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成29年12月成牛と畜頭数は、99.8千頭(前年比104.2%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛46.1千頭(前年比 103.8%)、交雑牛23.4千頭(同 111.8%)、乳牛去勢15.7千頭(同 97.8%)であった。 ○平成30年1月の成牛と畜頭数は、速報値(1/31まで集計)で76.3千頭(前年比98.0%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した牛肉の需給予測によると、2月は1日当たりの出荷頭数は前年を上回るものの、と畜場稼働日数が前年を下回ると見込まれることから、出荷頭数および生産量ともに前年をわずかに下回ると予測する。 ○品種別の1月出荷予測について、和牛は前年をやや下回り、交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率上昇により増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。 ○需要動向については、赤モノはモノにより依然不足気味であるが、レバー・ハツの動きが鈍ってきた。 シロモノは小腸は動きは悪くないが、価格が昨年より若干安めである。大腸も堅調である。市中在庫は多いと言われている。 より寒さが厳しくなる中で、鍋物等の季節需要を期待したい。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 <span style="float:right">単位:円/枝肉kg</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">*豚正真物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成29年12月度全国の肉豚出荷頭数は1,457千頭(農林水産統計1/31公表 前年比98.3%)となった。農水省11月28日発表の月出荷予測では、1,515千頭(前年比102%)と予測されており、前年同月、予測ともに下回る結果となった。 ○平成30年1月の全国と畜頭数は、速報値で1,317千頭(1/31まで集計)、前年同比94.3%となっている。稼働日数では昨年と同じ19日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で69,311頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成30年2月2日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年2月1,310千頭(前年同月比100%)3月1,413千頭(98%)、4月1,347千頭(102%)、5月1,368千頭(101%)、6月1,298千頭(99%)、7月1,260千頭(102%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に堅調である。タンは相変わらず好調である。レバーも安値ではあるが堅調である。 シロモノは動きが落ち着いてきた。需要期なのではあるが小腸・直腸引き合い弱くなり始めている、市中の在庫もさほど多くない。 ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で堅調である。豚足は非常に引き合いが強い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 <span style="float:right">単位:円/枝肉kg</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成29年12月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で47.0千ト(前年比104.2%、前月比113.0%)であった。 内訳は、チルドが23.4千ト(前年比101.4%、前月比106.5%)、フローズンは23.5千ト(同 107.1%、同 120.4%)であった。 チルドビーフについては、豪州産が11.0千ト(前年比 104.2%)、米国産は11.4千ト(同 99.2%)であった。 ○(独)農畜産業振興機構が1月24日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、主に出荷頭数の増加を背景に米国産の輸入量の増加が見込まれることから、12月～2月の各月で過去5ヶ年平均を大幅に上回る2万ト前後で推移すると予測する。 ○平成29年12月の冷凍輸入牛レバーは84.7ト(前年比123.6%・前月比126.8%)であった。国別では米国37.1t、豪州36.0t、墨国11.0tであった。 冷凍輸入牛腸は1,409.3ト(前年比98.3%・前月比113.4%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 <span style="float:right">*交雑牛含む 単位:円/枚</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成29年12月の輸出実績は、37,035枚(前年比142.1%、前月比95.0%)で、前月は下回ったが、前年は上回った。輸出平均価格は5,022円/枚(前年比+111円、前月比+458円)と上回った。 国別実績は、韓国12,115枚(前年比155.8%)、タイ9,870枚(同76.5%)、香港9,290枚(同326.0%)、ベトナム 5,160枚(同264.0%)、インド 600枚(同103.5%)、台湾は実績なし。一方、ウエットブルーの輸入は、76.4千枚(前年比166.1%、前月比181.4%)、牛大判皮は35.1千枚(前年比117.8%、前月比95.6%)となった。 ○輸出動向は数量について、先月に続き多い輸出数量の月となり、価格も上げとなった。 ○米国の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっているが、国産は底を打ち反転してきている感がある。また、カーシート需要も盛り返してきているとのこと。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 <span style="float:right">単位:円/枚</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)		豚原皮																							
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																									
②豚原皮	<p>○平成29年12月の輸出合計は、1,267,962枚(前年比97.2%、前月比124.0%)と、前年は下回ったが前月は上回った。 輸出価格は788円/枚で前年比-52円、前月比-21円であった。 国別実績は、台湾157千枚(前年比57.9%)、タイ1,006千枚(同111.1%)、韓国78千枚(同116.4%)、ベトナム24千枚(同77.5%)、フィリピン・香港とも実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中であるが、価格が下がり傾向なのが気になる。国際的に、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。</p>																										
3. レンダリング	①油脂等	<p>○12月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月は保合、前年からは+2円上げの90円(前年比102.3%)となり、牛脂は逆に-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は17ヶ月、牛脂29ヶ月の長期保合であったが、前月から価格改定となった。豚脂は外食を中心に「味の差別化」の追い風があるが、牛 脂は、ファーストフード大手の店舗整理の影響やフライ需要の減少で下げとなった。 ○12月マレーシア産パーム油相場は、在庫量の増加と輸出需要の伸び悩みで、95円と軟調であった。(前月比101.0%、前年比89.6%)。 ○12月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+4円となった。工業用油脂は前月・前年と同様の47円/kg。 ○12月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円～66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5. 油脂価格(食用向け) <span style="float:right">単位:円/kg</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td><b>平成29年11月1日</b></td> <td><b>90</b></td> <td><b>90</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
<b>平成29年11月1日</b>	<b>90</b>	<b>90</b>																									